# 令和２年度　第３回八尾市外国人市民会議【会議録概要】

日時：2021年２月８日（月）　午後６時30分から午後８時まで
場所：市役所８階　第２委員会室
出席委員：野中　モニカ、高谷　幸、李　昌宰、レ ティ キィウ　ナァー、
ダーリントン　ティカス　イブラヒム、朴　洋幸、フィン　トゥ　バン、
山内　雅之（敬称略）
事務局：（文化国際課）鎌田課長、川添課長補佐、出水課長補佐兼係長、冨田主査
（三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社）島崎　耕一、丸川　正吾、栗山　智帆

## １．開会

いつもは全体を２つのグループに分けて、グループワーク形式にて意見交換を行っているが、今回はグループ分けせず、全体で意見交換を行いたい。

## ２．意見交換　テーマ「第２次八尾市多文化共生推進計画（素案）について」

資料１第２次八尾市多文化共生推進計画（素案）と資料２第２次八尾市多文化共生推進計画（素案）に係る市民意見提出制度実施要領、について事務局から説明。パブリックコメントは２月19日まで実施している。

＜意見交換＞

・５ページの「外国人市民情報提供等ニーズ調査」の対象者に記載してある※印の２つ目について、「日本うまれである在日韓国・朝鮮籍」と言葉が重複しているので、「日本うまれである韓国・朝鮮籍」に修正した方がよい。

⇒（事務局）修正を行う。

・31ページの「基本理念」では、「韓国・朝鮮籍市民をはじめベトナム籍市民、中国籍市民」と記載されているが、ここは国籍ではなくルーツのある方も含まれると思うので、「韓国・朝鮮人をはじめベトナム人、中国人」という表現に変更した方がよいのではないか。

⇒（事務局）他のページの表現とも整合が取れるように検討させていただく。

・28ページの「６　今後取り組むべき課題」で、「外国人」と「外国人市民」の両方の記載があるが、何か区別はあるのか。

⇒（事務局）「外国人市民」については、１ページに注釈を載せており、八尾市に住んでいる外国人を表現している。八尾市以外に住んでいる外国人も対象に含む箇所では「外国人」と記載をしている。

・31ページの基本視点に「外国人のエンパワーメントと社会参加」とあるが、「エンパワーメント」はどのような意味で使っているのか。

⇒（事務局）「エンパワーメント」という言葉が初めて出てくる15ページの注釈６に、「元々持っている能力や行動力、自己決定力等を取り戻すこと」と記載している。

・９ページの「特定技能」について、「送出し機関や監理団体を通すのではなく」とあるが、実際は送出し機関を通していると思うので、修正した方がよい。

⇒（事務局）実態を確認し、変更する文言について検討する。

・29ページの【就労・入居】について、一括りになっていることに違和感がある。

⇒（事務局）現行の八尾市多文化共生推進計画の中で、「就労・入居に関する支援」という基本施策を立てていることから、このように分類している。

・計画（素案）では、相談や推進体制について対面を原則としているように思う。コロナ禍で、相談・通訳・交流について、オンラインで実施する状況にあると思うので、計画の中にオンラインの取り組みを入れてもよいと思う。

⇒（事務局）指摘のとおり、計画には挙がっていないが、取り組みを実施するためにオンラインを活用しているものもあると思うので、来年度以降の進捗状況の確認の中で、オンラインの取り組みがわかるように取り組み主体から報告いただくようにする。

・コロナ禍で策定される計画なので、新型コロナで国内の外国人が影響を受けていることについて、短くてもよいので、盛り込んだ方がよいのではないか。

⇒（事務局）記載する方向で、記載場所や文言について検討する。

・大阪府と連携して取り組んでいることもあると思う。計画の中で、それがわかるとよいと思う。

⇒（事務局）災害時対応や相談員のスキルアップなどは、大阪府や大阪府国際交流財団と連携し取り組んでいるところである。計画の中に反映できるかどうか検討させていただく。

・八尾市外に対して、八尾市に多くの外国人市民が生活していることが発信できれば面白いと思う。商売をしている人たちの集まりなどがあると思うので、連携して取り組みを広げていければよいのではないか。

⇒（事務局）行政が支援できない部分もあると思うが、外国人市民のエンパワーメントを高めていくことで、商売の活動の輪などが広がっていくような環境を作っていきたいと思う。

・29ページの【保健・医療・福祉】で、こころの問題を抱えている外国人市民が増えているため、「ストレス」「うつ」「ハラスメント」「自閉症」等に関する情報を知ってもらうことが必要です、と記載されているが、誤解を与える記載になってしまっているため、表現を修正した方がよいのではないか。

⇒（事務局）修正を行う。

## ３．八尾市外国人市民会議のまとめについて

資料３　八尾市外国人市民会議からの意見、について事務局から説明。

＜質疑＞

・八尾市外国人市民会議からの意見については、どのような形で出されるのか。第２次八尾市多文化共生推進計画には、外国人市民会議の議論の経過は載らないのか。

⇒（事務局）計画素案４ページの「計画の策定経過」にて、本日の会議も含めて、外国人市民会議で意見交換したことについて記載する予定である。

・資料３の表紙について、元号、西暦の順になっているが、計画と合わせてほしい。

⇒（事務局）西暦、元号の順に変更する。

## ４．その他

事務局より、第５期外国人市民会議委員の任期が2021年３月31日までであり、今回の会議が任期中で最後の会議になることを説明。

・計画（素案）にも記載しているとおり、今後もこの市民会議は継続して実施していくので、各委員より感想、意見をいただき、今後の参考とさせていただきたい。

＜意見・感想など＞

・自分からも発信して、若い世代の人たちを巻き込めるようにしたい。

・１年間勉強になった。これからも頑張りたい。

・自分の意見が外国人市民の意見すべてを代弁できるとは思っていないが、自分の経験や日々の外国人市民との関わりの中で感じていることを、施策に少しでも反映できたらと思い取り組んできた。次期計画の中で、意見がどの程度反映されたか判断しにくいが、今後実行していく中で、少しずつ実を結んでいってもらいたいと思う。

・コロナ禍でイベントが中止になるなど影響があるが、新しい気づきもあった。日本で働く外国人の現状を知る、オンラインやSNSを活用するなどのきっかけになった。国際交流センターでもオンラインを活用した日本語学習やLINEでの外国人相談などに取り組んでいる。次期計画の中にも、国際交流センターの名称がたくさん出てくるので、多文化共生社会の実現に向けてしっかりと取り組んでいきたい。

・ベトナム語の通訳に携わっているが、ベトナム人が年々増えていく中で、八尾市もたくさん取り組みを行っていて、ベトナム人にとって住みやすいまちになっていることを実感している。八尾市に来る外国人市民の役に立てるよう、これからも頑張っていきたい。

・八尾市で生まれ育ってきたが、生まれた当初はここまで施策が進んでいなかったと思う。地域や行政の力で、八尾市が住みやすいまちになってきたのだと思うので、八尾市の取り組みを八尾市内だけでなく全国にも発信してもらいたい。

・参加して大変勉強になった。外国人市民会議が丁寧に進められていることが印象的だった。グループに分かれた意見交換や出された意見を市政に反映させようとする行政の姿勢、委員の積極的な会議参加もあって、うまくできていると感じた。このような会議が八尾市だけでなく、全国に広まってほしい。ただ、外国人市民会議に参加できる人は限られているので、参加できない人の声を拾うために今後も改善していってもらえたらと思う。

・もう少し皆さんの意見を引き出せたらよかったと反省している。八尾市だけでなくこのような活動が全国に広まるといい。学ぶことが多い会議で、委員の皆さんに感謝している。

## ５．閉会